

# 持続可能性（サステナビリティ）新時代の CSR/CSV/ESG/SDGs

— 理論と実践、早わかり —

## ●プログラム●

- 【開催日】第1回：2017年6月1日(木)13:30~17:00 東京・企業研究会セミナールーム  
 第2回：2017年6月16日(金)13:30~17:00 東京・企業研究会セミナールーム  
 第3回：2017年7月14日(金)13:30~17:00 東京・企業研究会セミナールーム

【講師】(株)伊藤園 常務執行役員 CSR推進部長 笹谷 秀光氏 (ささや ひでみつ)

### 【略歴】

東大法卒、1977年農林省入省、環境省大臣官房審議官、農林水産省大臣官房審議官、関東森林管理局局長を経て、2008年退官。  
 同年伊藤園入社、2014年7月より現職。

日本経営倫理学会理事、グローバルビジネス学会理事、特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラム理事。

### 【著書】

「CSR新時代の競争戦略—ISO26000活用術」(日本評論社・2013年)

「協創力が稼ぐ時代—ビジネス思考の日本創生・地方創生」(ウイズワークス社・2015年)

## ●フォーチュン (FORTUNE) 「世界を変える企業 50社」

ビジネス誌『フォーチュン (FORTUNE)』は、2016年9月1日号で事業を通じて「世界を変える企業 50社 (50 Companies That Are Changing The World)」を発表しました。これは、事業を通じて世界の社会課題解決に貢献する世界の様々な分野の企業から50社選定したものです。

最新の社会・環境課題に事業を通じて応える「共有価値創造企業」のリストといえるもので、この中で、日本企業は2社選定され、伊藤園18位、パナソニック39位です。この内容は「持続可能性」新時代の企業の在り方の参考になります。

## ●「持続可能性」新時代と CSR/CSV/ESG

折しも、2020年に東京五輪・パラリンピックを迎え、経済のみならず、社会・環境面の持続可能性について、重要な節目を迎えています。

CSRの基本であるトリプルボトムライン、「経済・環境・社会」のすべての面で2015年には重要な動きがありました。投資家が投資先を選定する基準として使う3要素、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) という、ESGとしてとらえる動きも加速しています。

背景には、先進国・途上国全ての国に適用される持続可能性の共通言語となる、国連の「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals: SDGs)の策定、気候変動についての「パリ協定」の採択、わが国での「コーポレートガバナンス・コード」などがあります。

今後は、持続可能性を真に理解し経営に組み込んでいけるかどうかを経営の質と投資を左右します。2016年は経営にとって「ESG元年」です。

## ●社会的責任に関する世界の流れ (CSR/CSV)

いよいよ「社会的責任の手引」国際標準 ISO26000 (2010.11) を使いこなして慈善活動的 (フィランソロピック) CSR から本業 CSR へ転換し、ポーター教授らによる社会課題に目を向ける競争戦略としての「共有価値の創造」(CSV) も戦略としていく必要があります。企業は、ESG を重視して、どのように持続的に価値を創造していくかという「ストーリー」を語り、メディアをはじめ、関係者と良い関係 (リレーションズ) を築く、本来的な意味の「パブリックリレーションズ」が重要です。

## ●これならわかる共有価値創造とサステナビリティ経営の理論と実践

そこで、①社会対応性を高める (国際標準の CSR として ISO26000 を活用)、②最新の「持続可能な開発目標 (SDGs)」を 2030 年目標として取り込む、③共有価値創造 CSV のアプローチを活用する、④その結果を発信する (GRI/IIRC などの報告ガイダンスを使用) ための理論と実践を示します。

理解を深めるため、フォーチュン (FORTUNE) の事例や講師の著書「協創力が稼ぐ時代」などから事例も紹介します。

わかりやすくするため、「三方よし」の考えも使い、「隠徳善事」では伝わらないので「発信型三方よし」として理解していきます。

CSR、IR、広報、ブランディング、経営企画など幅広い業務の責任者・実務家、そして経営層も対象といたします。

◆第1回 6月1日(木) 13:30~17:00

『CSR再考とSDGs ～経営に活かすために～』

1. フォーチュン誌「世界を変える企業50選(2016)」
2. 企業を取り巻く世界の動き — サステナビリティ新時代へ
3. CSRの変遷 — 本業のCSRへ
4. ESG(環境・社会・統治)とCSR
5. SDGs(持続可能な開発目標) — 新たな“持続可能性の共通言語”

◆第2回 6月16日(金) 13:30~17:00

『CSRとCSVとSDGs ～経済的価値と社会的価値の両立～』

1. SDGsとCSV(共通価値の創造) — 経済価値と社会・環境
2. CSRとCSVの両立
3. さまざまな国際ルールや考え方の整理
4. 伊藤園の事例
5. 各企業の事例

◆第3回 7月14日(金) 13:30~17:00

『「発信型三方よし」～パブリックリレーションズと発信～/まとめ』

1. 「発信型三方よし」 — 日本型「三方よし」を補正、日本型CSVへ
2. 各企業の日本型CSV事例
3. パブリックリレーションズとCSRコミュニケーション
4. 企業活動のレポート(伊藤園の統合報告書事例)
5. コーポレートブランドの確立で企業価値の向上/3回講義のまとめ

●参加要領●

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

\*当会ホームページ(<https://www.bri.or.jp>)からもお申込みいただけます。

↓ 受講希望日を口にチェックして下さい。

●受講料● 1名(税込み、資料代含む)

正会員	一日 32,400円 / 3日間 86,400円
一般	一日 35,640円 / 3日間 97,200円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAX  
 いただくか、当会ホームページからお申し込みください。  
 後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書  
 お送り致します。

●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号を  
 お間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点に  
 つきましては、当会ホームページより【TOP】→  
 【公開セミナー】→【よくあるご質問】をご参照下さい。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますこと  
 もありますので、ご了承下さい。

一般社団法人企業研究会  
 担当: 村野 E-mail [murano@bri.or.jp](mailto:murano@bri.or.jp)  
 〒102-0083  
 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町M-SQUARE 2F  
 TEL 03-5215-3550 FAX 03-5215-0951

171122-0403	<input type="checkbox"/> 2017. 6. 1 CSR再考とSDGs
	<input type="checkbox"/> 2017. 6. 16 CSRとCSVとSDGs
	<input type="checkbox"/> 2017. 7. 14 発信型三方よし
会社名	
住所	〒
TEL	FAX
部課 役職	フリガナ お名前
e-mail	
部課 役職	フリガナ お名前
e-mail	

\*申込書にご記入頂きました個人情報、本研究会に関する確認・連絡及び弊社主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。